



### 商工中金景況調査（2022年5月調査・定例分）の公表について

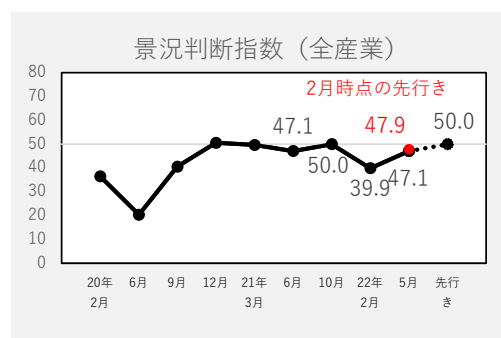
商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感をはじめとする実態把握のため景況調査を実施しており、今般、2022年5月調査のうち毎回共通の質問項目（定例分）の結果について公表しました。

#### <2022年5月の景況感>

#### 製造業がやや後退するも、非製造業の持ち直しから全体では「悪化」超幅が縮小

5月の景況判断指数は、感染症の影響が和らぐ中、非製造業の大幅な持ち直しから「悪化」超幅が縮小し、47.1となりました。

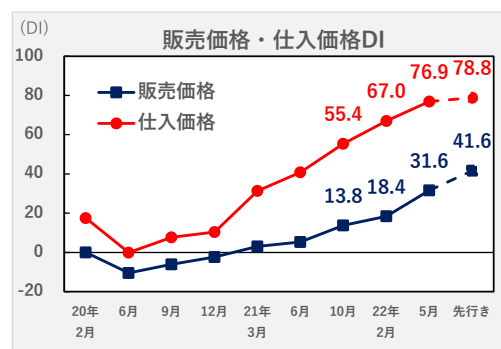
先行きの景況判断指数は、中立値である50.0まで持ち直す見通しとなっています。



#### <2022年5月の業況判断>

#### 販売価格DIの「上昇」超幅の拡大テンポが仕入価格DIを上回る

販売価格DI、仕入価格DIともに前回調査時点よりも「上昇」超幅が拡大しましたが、仕入価格DIの上昇幅+9.9ポイントに対し、販売価格DIの上昇幅は+13.2ポイントと、販売価格の「上昇」超幅の拡大テンポが加速しており、価格転嫁が相応に進みつつあるとみられます。



- ・本編資料は[こちら](#)をご覧ください。
- ・トピックス調査分(中小企業の仕入コスト等の影響、価格転嫁状況<仮>)は7月上～中旬頃公表予定です。